

## 1 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市老人福祉センター「ふれあい」
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	社会福祉法人 名張市社会福祉協議会 名張市丸之内 79番地
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	平成24年度 年間延べ利用者数 19,672人 開館日数 299日
(4) 市支出額	指定管理料 21,300,000 円
(5) 管理運営の状況	管理施設の管理運営に関する業務 生きがい活動、趣味活動、日常訓練及び入浴に関する業務 福祉バスの運行管理に関する業務 管理施設の設備及び備品の管理に関する業務 保健及び福祉等の関係機関との連携

## 2 提案内容の達成状況

提案内容	達成状況
平等利用の確保及び利用者サービスの向上	<p>(1) 利用者の平等な利用の確保</p> <p>地区割りによる曜日指定利用を原則としながらも、利用者の利便性を確保し可能な限り利用していただけるよう、利用曜日の変更にも気軽に対応しています。</p> <p>地区割りによる曜日指定利用について、利用制限のある中でも最大限利用していただける方法についての説明を丁寧に行い、利用日の変更だけでなく各種サークル活動や土曜日等でのイベント情報などを提供しています。</p> <p>多くの市民の方に施設利用をしていただくための広報啓発活動を広く行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢障害支援室に協力いただき、介護保険証の新規発行・発送する時にセンター利用案内を同封していただき、65歳以上の方に漏れなく施設利用案内を配布しました。</li> <li>・社協広報誌「ほほえみ」(「YOU」)に利用案内や施設行事案内や参加者募集情報を掲載し、広く市民に周知しました。</li> <li>・チラシ・パンフレットを新たに作成し、地域包括支援センター・まちの保健室、各地区民生委員児童委員協議会といった高齢者支援機関・団体に配布し、利用対象者への周知を図りました。</li> <li>・また、福祉バスを運行する三重交通バス内に施設案内チラシや行事等の参加募集チラシを置くなど、一般市の方への周知を工夫しました。</li> </ul> <p>施設内の限られた機器や設備を公平に利用して頂けるよう対応しています。</p> <p>(例)・人気のあるカラオケでは、早い者勝ちではなく、くじで順番を決め時間内での利用を促しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルストロンやマッサージ機器についても独り占めするようなことがないように、張り紙や声かけなどを行い、お互いが気持ちよく利用できるよう目を配り対応しています。</li> </ul> <p>自主的なサークル活動をより活性化するため、利用日程・活動場所の調整を行いました。</p> <p>ローテーションで勤務するしていますが、職員による対応の齟齬が生じないように、申し送りを徹底し対応しています。</p> <p>(2) 障害者・高齢者等への配慮</p> <p>老人福祉センター「ふれあい」は、老人福祉法に則る社会福祉施設であり、65歳以上の高齢者はもちろんのこと、土曜日には障害者の方も利用できることから、安心・安全な利用ができるよう対応しています。</p> <p>利用者の平均年齢は高くなっており、足腰に不安がある方、物忘れがある方など、利用時も見守りが必要となる方も少なくない状況です。</p> <p>【入館時】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉バス乗降時に転倒しないよう、安全のため、ステップ出し・声かけ・介助等を行っています。あわせて忘れ物のチェックも行っています。</li> <li>・受付時での声かけを行い、必要に応じた相談の対応をしています。</li> </ul> <p>【施設利用時】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内の見回りを行っていますが、(利用者特性から)特に入浴時及び入浴後に体調不良を訴え</li> </ul>

ることもあるため、浴室・脱衣室については必ず30分ごとの見回りを実施しています。利用者の状況によってはより頻回にしたり、また浴室利用についての抑制を促すなどの対応により、事故を未然に防ぐようにしています。

・浴室利用時に限らず、体調不良を訴える方（又は体調の悪そうな方）や普段の様子と違う方（元気がない方）等に対して、声かけ・相談、バイタルチェックを行い、本人同意のもと家族や専門機関への連絡調整・情報提供を行っています。状況によっては連携し継続的な見守りを行っています。

【利用環境】

- ・シルバーカー、歩行器、車椅子等を設置し、必要に応じ活用してもらっています。
- ・介護や付添が必要な方の利用促進のため、介護者や付添者の利用料金減免を行っています。
- ・AEDを設置しており、急変時の対応に備えています。
- ・総合福祉センターふれあいの消防訓練に参画し、非常時の避難誘導訓練を行っています。

・受付に職員が常駐し、利用料の徴収を行ない、円滑に利用が出来るようにしています。また、受付場所に血圧測定器を置き、血圧測定を通して気軽にくらしの不安、健康の相談ができるようにしています。

・利用者の意見をきけるように意見箱を設置しています。また、職員は日常的に意見をきくように努めています。

・事業実施後にアンケートを行い意見をきいて次の計画につなげています

・利用者の方が可能な限り、現金を持ち歩くことを少なくするために回数券をカード化した「ふれあいカード」の利用済みのものを応募券として月1回「お楽しみ抽選会」を行い、当選者には1日無料利用券を発行しています。

・センター利用の多くの方が活用される福祉バスの発着時の対応として、バス乗降時の段差に対応するため、段差解消のステップを活用し、職員が乗降時に見守りや必要に応じて介助を実施しています。また、福祉バスについて、優先的にノンステップバスの走行がされています。また、帰宅時のバスについては事前にアナウンスを入れることはもちろんのこと、乗り遅れてしまう方がないように、施設内の確認と声かけを実施しました。

・利用者の買い物や昼食のお弁当の持参に対応して、食品の保存のため冷蔵庫の利用ができるようにしています。

・湯茶(温茶・冷茶)、温湯を提供し、自由に利用できるようにしています。食事時や友人との談笑時に利用や水分補給に利用されています。

・利用者が衛生的に施設や備品が使用できるように、清潔の保持に努めています。

(1) 啓発

- ・多くの市民の方に施設利用をしていただくための広報啓発活動を広く行いました。
- ・高齢障害支援室に協力いただき、介護保険証の新規発行・発送する時にセンター利用案内を同封していただき、65歳以上の方に漏れなく施設利用案内を配布しました。
- ・社協広報誌「ほほえみ」(「YOU」)に利用案内や施設行事案内や参加者募集情報を掲載し、広く市民に周知しました。
- ・チラシ・パンフレットを新たに作成し、地域包括支援センター・まちの保健室、各地区民生委員児童委員協議会といった高齢者支援機関・団体に配布し、利用対象者への周知を図りました。
- ・また、福祉バスを運行する三重交通バス内に施設案内チラシや行事等の参加募集チラシを置くなど、一般市民の方への周知を工夫しました。

・社会福祉協議会広報誌「ほほえみ」やホームページへ事業案内や各種教室の案内、参加者募集を掲載しました。地区民生児童委員協議会、まちの保健室などに参加者募集チラシを配布しました。

(2) 生きがい活動支援通所事業

生活相談	受付等にて、随時利用者のくらしの不安等の相談に応じました。	
ふれあい交番	月1回警察官による地域防犯や交通安全に関する講話を実施しました。	
110番の日	1月10日に、警察官による「正しい110番のかけ方」などのお話を実施しました。	
「替わり風呂の日」	月1回(4月・8月・12月は1週間)入浴剤等で、「替わり湯」を実施しました。	
映画会	月1回(月～土)映画などの上映を行いました。	
各種発表会	利用者の発表と交流の場を提供し、楽しみや生きがいに繋がるように実施しました。開催にあたっては、利用者の方やボランティアの方の協力により実施しました。	
	ピリヤード大会(3回)	七夕カラオケ大会、新春カラオケ大会、芸能発表会を開催しました。利用者が喜ばれるカラオケで、発表の機会を増やし、通常の大大会では披露することが少ない、デュエットカラオケ大会を実施しました。
	デュエットカラオケ大会(新)	
	七夕カラオケ大会	
新春カラオケ大会		

施設の効用の最大限の発揮(利用促進、利用者増など)

	<table border="1"> <tr> <td>芸能発表会</td> <td rowspan="4">ビリヤード大会は利用者の要望に応じて、昨年より増やし3回実施しました。 今年度は、サークル生活活動などの発表の機会として、作品発表会とお茶会を実施しました。</td> </tr> <tr> <td>マジックショー</td> </tr> <tr> <td>作品発表会（新）</td> </tr> <tr> <td>お茶会（新）</td> </tr> </table>	芸能発表会	ビリヤード大会は利用者の要望に応じて、昨年より増やし3回実施しました。 今年度は、サークル生活活動などの発表の機会として、作品発表会とお茶会を実施しました。	マジックショー	作品発表会（新）	お茶会（新）
芸能発表会	ビリヤード大会は利用者の要望に応じて、昨年より増やし3回実施しました。 今年度は、サークル生活活動などの発表の機会として、作品発表会とお茶会を実施しました。					
マジックショー						
作品発表会（新）						
お茶会（新）						
クリスマス抽選会（新）	クリスマス時期に利用者の楽しみを増やし、日頃の利用に感謝の意味を込めて、抽選を行い景品を渡しました。					
<p>（3）各種自主サークル活動への支援</p> <p>・センターが実施した講座等をきっかけにしたものや、ボランティアの方が主体的にかかわりながら発生したサークルや2次予防事業修了生が始めたサークルや日常の利用者が主になり始めたサークル活動を支援しました。</p>						
カラオケ教室	<p>・サークル生の活動意欲につながるように、発表会を行いました。</p> <p>・自主グループの茶室での練習を支援しました。</p> <p>サークルの中には、ボランティアとして他の福祉施設への訪問活動を実施されているものもあります。</p> <p>延217回、延1,771人が活動されました。</p>					
ふれあいハーモニー（コーラス）						
いきいき書道クラブ（漢字）						
いきいき書道クラブ（かな）						
茶道教室						
ながつきの友（茶道）						
ビリヤード教室						
ものづくり						
ぱりぱりサークル						
茶道						
<p>（4）地域活動への支援</p> <p>・毎年行われている、名張地区民生児童協委員協議会による、「高齢者のつどい」の実施を支援しました。</p> <p>・緑ヶ丘地区（プラチナ会）の提案に協力し「ふれあい体験・見学会」の実施を支援しました。</p> <p>・名張市委託事業「社会的居場所づくり事業」のティサロンボランティアを年12回受け入れました。</p> <p>・その他、城陽市立老人福祉センター運営委員会（40名）の視察研修を受け入れ、利用料徴収等のセンター運営問題について、意見交換しました。</p>						
<p>（5）介護予防事業（1次予防事業）</p>						
健康相談	受付にて、希望者に血圧測定・健康相談に応じました					
一般マシン・トレーニング教室	年間5クールに分け、1クール7回のコースで、運動器向上のため実施しました。 今年度より、参加者の増加に対応して、月～金曜日のどの曜日にも実施するように(木曜日コースを増やした)しました。					
ヘルスアップ教室	心身ともに健康でいきいきと、生涯健康生活を目指すように、「料理教室」と新たな取り組みとして「健康マーじゃん教室」を実施しました。					
健康チェックデー	4月と12月に、身体・体力測定を希望者に実施し、併せて健康相談を実施しました。					
「私の健康カルテ」の発行	健康管理や介護予防への意識づけを目的に各介護予防事業時に希望者に発行しました。					
歯科衛生士による歯科相談	歯科衛生士による、歯科相談を実施しました。（2回/年）					
介護予防講演会「スクエアステップ」	平成25年度から、高齢者の介護予防を目指した「スクエアステップ教室」を開始するため、まず、「スクエアステップ」を知ってもらい、教室に協力いただくボランティアの人材発掘のため、三重大学教育学部准教授、NPO法人スクエアステップ協会理事の重松良祐さんを講師に講演会を開催しました。					
<p>（6）介護予防事業（2次予防事業）</p> <p>2次予防事業：名張市において「要支援・要介護のおそれのある者」として特定された方を対象とした事業を、地域包括支援センターと連携、歯科医師会・歯科衛生士会、地域栄養士連絡協議会の協力を得て実施しました。</p> <p>今年度は地域包括支援センターと数回にわたり打ち合わせ、実績分析を行い、25年度以降の2次予防の事業展開についての協議を行い、次年度からは認知症予防についてのプログラムについても実施していくことなどを調整しました。</p>						
運動器の機能向上「足腰ぱりぱり教室」	マシンを活用し、運動器（特に下肢）機能を向上させ、転倒予防や自立力向上を図る教室を実施しました。					
口腔機能向上・栄養改善「栄養ぱりぱり！健口教室」	集団教育の形式で1つの教室で、歯科医師、歯科衛生士、栄養士の協力を得て、口腔機能向上、栄養改善を図る教室を実施しました。					

<p>施設の適切な維持管理及び経費節減</p>	<p>当施設設置機器の特性、構造を把握した適切な点検及び管理を行いました。          老朽化の見られる施設・設備の管理状況について、随時報告と提案を行いました。          給湯1次ポンプ・空調設備等、経年劣化による機器の故障の際には、利用者への周知・市や設備業者に修繕の手配を行うなど、速やかに対応しました。          水道光熱費については、引き続き夏季使用電力の制御（デマンド監視）を継続して行い、各部屋に温度・湿度計を設置、職員に対して具体的なエネルギー節減の方法などの啓発を行いました。          3階庭園や施設周辺の美化活動を職員が延べ14回行い、利用者の方に気持ち良く過ごしていただける環境を提供しました。</p>
<p>管理を的確に行う人員構成（組織体制等）</p>	<p>高齢者や障害者が利用される社会福祉施設であり、日常業務における運営を保健師が主体となり、看護師、介護員（ヘルパー2級）、業務補助職員の4名を配属して、施設管理や相談援助などを行ないました。総合福祉センターの防災訓練に参加し、利用者の階段からの避難誘導の方法の勉強会を行い、パントリーからの出火を想定した訓練を行いました。          介護予防事業の実施においては、「介護予防運動指導員」の資格を持つ、保健師、介護員が担当しました。          H25からの「スクエアステップ教室」の開催に向けて、スクエアステップ指導員の資格を受けました。</p>

### 3 施設設置者（名張市）評価

<p>指定管理協定に基づく業務は適正に実施されています。          地域の高齢者の拠点として利用者第一に考え、安心・安全に、そして気持ちよく時間を過ごせるよう職員が細やかな配慮を行い、また日常的に利用者の声を聞き、利用者のニーズにあった行事等を考え、実施する努力も行っていきます。          今後もより一層、自主事業の充実を行い、利用者が充実した時間を過ごせるようサービス向上に努めていきたい。</p>
---

名張市老人福祉センター「ふれあい」の管理に関する業務の収支決算書（24年度）

（単位：円）

区分	項目	計画額	決算額	内訳等
収 入	利用料金収入	3,660,000	3,675,400	施設利用料 3,675,400
	参加費収入	715,000	674,382	カラオケ参加費 674,382
	指定管理料収入	21,300,000	21,300,000	老人福祉センター指定管理料
	雑収入	10,000	4,150	公衆電話利用料金 4,150
	受取利息配当金収入	0	601	預金利息 601
	収入合計(A)	25,685,000	25,654,533	
支 出	人件費	4,388,000	4,333,488	職員俸給・賃金 3,056,601 法定福利費 561,056 職員手当 595,831 退職預金積立金 120,000
	事務費	438,000	393,632	福利厚生費 11,760 業務委託費 30,000 研修費 25,200 損害保険料(職員賠償) 6,760 消耗品費 1,995 賃借料 2,000 通信運搬費 30,917 租税公課 285,000
	事業費	13,082,000	12,971,144	賃借料 485,670 ハス運行委託 12,022,758 消耗品 181,514 教養娯楽費 112,142 損害保険料(利用者) 100,000 広報費 50,000 通信(NHK・ケーブル) 19,060
	管理費	8,542,000	8,388,843	ハルストロソ保守料 53,025 水道光熱費 6,710,220 風呂水質検査等 476,280 修繕費 52,500 清掃委託料 1,096,818 (ピリヤード台張替)
	支出合計(B)	26,450,000	26,087,107	
	収支 (A)-(B)	765,000	432,574	